

Oyama College		Year	2022		Course Title	Cultural Science II
Course Information						
Course Code		0101		Course Category	General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department		Department of Architecture		Student Grade	5th	
Term		Second Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		使用しない。毎回資料を配布する。				
Instructor		UENO Tetsu				
Course Objectives						
1. 科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できる。 2. 応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できる。 3. 研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できる。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を十分に理解できる。	科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できる。	科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できない。		
評価項目2		応用倫理学の諸分野が抱える課題について充分説明できる。	応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できる。	応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できない。		
評価項目3		研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を十分に展開できる。	研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できる。	研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できない。		
Assigned Department Objectives						
学習・教育到達度目標 ① 学習・教育到達度目標 ② 学習・教育到達度目標 ⑥ JABEE (D)						
Teaching Method						
Outline	応用倫理学とりわけ科学技術倫理をめぐる理解を深めることで研究者／企業人としての倫理観を高めることに重点をおく。					
Style	本授業受講者は以下の3項目に積極的に取り組むことが求められる。 (1) 講義内容の理解： 第1, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 13, 14, 15週は授業担当者による講義である。講義内容を十分に理解することが求められる。 (2-1) 講義で扱った内容理解の深化と説明(1)： 第3, 5, 7, 9, 11週は受講者によるプレゼンを行う。プレゼンの評価に対しては、視聴する受講者によるピアレビューを採用する。 (2-2) 講義で扱った内容理解の深化と説明(2)： 受講者は全員第15講終了後に、教員が指定したテーマに関するレポートを作成提出する必要がある。受講者一人一人に異なるテーマを与える。					
Notice	特になし。 本シラバスの内容は2022年9月26日に修正した。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☒ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	序論：科学技術時代の新しい倫理	左記内容を理解する		
		2nd	生命倫理分野の問題（1）：生殖技術の発展と権利の問題 生命倫理分野の問題（2）：日本の生命観と西欧の生命観	左記内容を理解する		
		3rd	生命倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。		
		4th	生命倫理分野の問題（3）：スポーツとドーピング問題 生命倫理分野の問題（4）：「性」と「身体」の問題	左記内容を理解する		
		5th	生命倫理分野の問題（3）（4）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。		
		6th	生命倫理分野の問題（5）：「健康」と「標準値」の関係 生命倫理分野の問題（6）：脳死と臓器移植	左記内容を理解する		
		7th	生命倫理分野の問題（5）（6）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。		
		8th	環境倫理分野の問題（1）：環境を「保全する」とは 環境倫理分野の問題（2）：「ハードゾーニング／ソフトゾーニング」	左記内容を理解する		
	4th Quarter	9th	環境倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。		
		10th	科学倫理分野の問題（1）：科学ジャーナリズム 科学倫理分野の問題（2）：エセ科学との対決	左記内容を理解する		
		11th	科学倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。		

		12th	企業倫理分野の問題（１）：ホイッスルブローイング 企業倫理分野の問題（２）：企業の社会的責任	左記内容を理解する
		13th	企業倫理分野の問題（３）：市民・消費者の社会的責任	左記内容を理解する
		14th	ロボット倫理分野の問題（１）：ロボットの倫理教育	左記内容を理解する
		15th	まとめ	左記内容を理解する
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	Total
Subtotal	0	70	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	20	0	0	0	10	30
専門的能力	0	20	0	0	0	10	30
分野横断的能力	0	30	0	0	0	10	40